

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	織田調理師専門学校
設置者名	学校法人 織田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配 置 困 難
調理専門課程	調理師科	夜・通信	960 時間	80 時間×1=80 時間	
	調理技術経営学科	夜・通信	1845 時間	80 時間×2=160 時間	
	調理製菓製パン科	夜・通信	1845 時間	80 時間×2=160 時間	

(備考) 調理専門課程 調理師科(夜間)は現在、募集停止中のため、本表には記載しておりません。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEBサイトにて授業科目一覧を公開。また同一覧内に、教員の実務経験に関するチェック欄あり。(掲載: URL) <https://oda.ac.jp/about/reports/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	織田調理師専門学校
設置者名	学校法人 織田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人WEBサイトにて理事名簿を公開。
(掲載: URL) <https://oda.ac.jp/about/reports/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学教授	2025.5.28～ 2029.5.27	教育内容・学科編成に 対する専門的な知見
非常勤	株式会社 代表取締役	2025.5.28～ 2029.5.27	組織運営体制へのチ ェック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者(公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等)は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	織田調理師専門学校
設置者名	学校法人 織田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

【作成について】

シラバスは、調理師法に則り、各授業科目の目標設定・講義内容について検討・検証したうえで、担当する教員が作成する。

学内で統一のフォーマットを用意。記載が必須となっている項目は以下の通りである。授業科目名/担当教員名/教員の実務経験の有無/対象の学科および学年/時間数/使用教材および教科書等/授業の目標および概要/授業の形式/開講時期/成績評価方法/授業計画

【公開時期について】

翌年度の授業計画は学内で稟議書を回覧し、幅広く意見を仰いだ上で決定する。その後、WEBサイトにて公開する。

授業計画書の公表方法 掲載：<https://oda.ac.jp/about/reports/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験により成績評価を行っている。

以下、学則より抜粋

(卒業)

第17条 本校所定の課程を修了した者には、学習評価の上卒業証書を授与し、申請により調理師免許が交付される。

(修了の認定)

第18条 本校所定の課程において、各学年ごとにその履修すべき教科目を終えた者には、修了の旨を認定する。

2. 各教科目修了の認定は、出席率などの学習態度を勘案しながら、筆記試験の成績実技の成績、その他の方法により、総合的に評価する。100点満点の60点以上を合格とし、当該教科目の担当者がその採点にあたり、修得が判定される。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は授業科目ごとに行う試験及び課題によって評価される。

本校では各授業の評価を100点満点に設定し、60点以上を合格としている。成績を通知する際は、点数により100~90点をS、89~80点をA、79~70点をB、69~60点をCと評する。

各成績はS(4点)、A(3点)、B(2点)、C(1点)に換算。GPAは(Sの授業数×4+Aの授業数×3+Bの授業数×2+Cの授業数×1)の合計を、各学生が履修済の総授業数で割った数を求ることによって算出する。

成績評価方法については、学則から抜粋したものをWEBサイトで公開するほか、入学時のオリエンテーションで入学生に通知する。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	掲載: https://oda.ac.jp/about/reports/
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は学校教育法に基づき、国民の食生活の向上に奉仕する調理師としての、充分な技能を修得するとともに、広い視野に立った学識を教授し、もってすぐれた人格と豊かな情操を有した人材の育成を目的とする。

卒業要件については、各学科の全授業科目を該当する年次にすべて合格することを定めている。

本校では、卒業認定の方針を策定し、WEBサイト上で公開している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	掲載: https://oda.ac.jp/about/reports/
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	織田調理師専門学校
設置者名	学校法人 織田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載: https://oda.ac.jp/about/reports/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生		調理専門課程	調理師科（1年制）		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
1年	昼	960 （単位時間／単位）	570 （単位時間／単位）	390 （単位時間／単位）	実験 （単位時間／単位）
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	27人	7人	8人	8人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）毎月一回、授業科目ごとに担当教員が学生の学習到達度および理解度を測るためにミニテストを実施。また、随時、担任教員による相談の受付や面談、進路指導、技術指導を行い、授業外でも学生の学習や生活、進路面での支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	14人 (73.7%)	5人 (26.3%)
(主な就職、業界等) 日本料理店、西洋料理店、中国料理店、ホテル、日本旅館、集団給食			
(就職指導内容) 個別面談、学内での就職セミナー、学内での企業説明会の実施、学園キャリアセンターからの支援			
(主な学修成果（資格・検定等）) 調理師免許、食品衛生責任者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	3人	13.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、不登校		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習、生活、進路について、担任教員が随時個別相談を実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		調理専門課程	調理技術経営学科 (2年制)	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	
2年	昼	1845 単位時間／単位	830 単位時間／単位	単位時間／単位	実験 単位時間／単位	
			単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	
80人		58人	7人	8人	17人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)						

(概要)
様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要)
様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要)
様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 毎月一回、授業科目ごとに担当教員が学生の学習到達度および理解度を測るためのミニテストを実施。また、随時、担任教員による相談の受付や面談、進路指導、技術指導を行い、授業外でも学生の学習や生活、進路面での支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	16人 (80%)	4人 (20%)
(主な就職、業界等)			
日本料理店、西洋料理店、中国料理店、ホテル、すし、天ぷら			
(就職指導内容)			
個別面談、学内での就職セミナー、学内での企業説明会の実施、学園キャリアセンターからの支援			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
調理師免許、食品衛生責任者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	4 人	16. 6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、不登校		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習、生活、進路について、担任教員が隨時個別相談を実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		調理専門課程	調理製菓製パン科 (2年制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1845 単位時間／単位	900 単位時間／単位	945 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		46人	0人	9人	20人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 毎月一回、授業科目ごとに担当教員が学生の学習到達度および理解度を測るためのミニテストを実施。また、随時、担任教員による相談の受付や面談、進路指導、技術指導を行い、授業外でも学生の学習や生活、進路面での支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 西洋料理店、中国料理店、ホテル、パティスリー、ベーカリー、集団給食			
(就職指導内容) 個別面談、学内での就職セミナー、学内での企業説明会の実施、学園キャリアセンターからの支援			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 調理師免許、食品衛生責任者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	2 人	10%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学習、生活、進路について、担任教員が隨時個別相談を実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
調理師科 (1年制)	150,000 円	590,000 円	652,000 円	その他は、「教育充実費」「実習費」「学習費」を合算した金額を指す。
調理技術経営学科 (2年制)	150,000 円	600,000 円	682,000 円	上記と同様
調理製菓製パン科 (2年制)	150,000 円	600,000 円	682,000 円	上記と同様
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 WEB サイトにて公開している https://oda.ac.jp/about/reports/												
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容は教職員内で共有され、次年度以降の改善に取り組んでいる。												
学校関係者評価の委員 <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th><th>任期</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導協会顧問</td><td>2025. 5. 01～2026. 4. 30</td><td>元高校教員</td></tr> <tr> <td>飲食店オーナーシェフ</td><td>2025. 5. 01～2026. 4. 30</td><td>卒業生/業界人</td></tr> <tr> <td>飲食店オーナーシェフ</td><td>2025. 5. 01～2026. 4. 30</td><td>卒業生/業界人</td></tr> </tbody> </table>	所属	任期	種別	進路指導協会顧問	2025. 5. 01～2026. 4. 30	元高校教員	飲食店オーナーシェフ	2025. 5. 01～2026. 4. 30	卒業生/業界人	飲食店オーナーシェフ	2025. 5. 01～2026. 4. 30	卒業生/業界人
所属	任期	種別										
進路指導協会顧問	2025. 5. 01～2026. 4. 30	元高校教員										
飲食店オーナーシェフ	2025. 5. 01～2026. 4. 30	卒業生/業界人										
飲食店オーナーシェフ	2025. 5. 01～2026. 4. 30	卒業生/業界人										
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 WEB サイトにて公開している https://oda.ac.jp/about/reports/												
第三者による学校評価 (任意記載事項)												

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 WEB サイトにて公開している https://oda.ac.jp/about/reports/